

Title	寄贈交換圖書雑誌目録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1934
Jtitle	史学 Vol.13, No.2 (1934. 8) ,p.167(345)- 168(346)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19340800-0168">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19340800-0168</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

らうか。

日本書紀に「一書白」として他の書からの引用が附記されてゐるから書紀編纂當時史書があつたことは事實であらう、又、聖徳太子や馬子の撰んだ天皇記國記は假令今傳はつてゐたとしても、その編纂は推古の二十八年（二八〇）であるから古事記に先つくと僅に九十年前のものに過ぎない。

記紀を通じてどれだけ正しく神代以來の我國古代の眞の姿が眺められるか、又口から耳へと語り繼がれた記紀にどれだけ原形が保存されてゐるか、語り繼いだ人の個性によつて、事實が歪められなかつたらうか。又社會の相が反映して傳説の原形が變らなかつたらうか。又特に記紀編纂當時、その編纂の目的や當時の社會的事實に依つて内容的に取捨増減が加へられなかつたらうか。

氏の之に對する態度はかうである。

私の想像する所が誤りが無いとすれば、日本の社會は、記紀編纂の頃に近づくに従つて、其の變化變遷の幅も速さも増加して居り、記紀の硝子に色が付いて居るとすれば、編纂直前二、三百年間位の色が付いて居ると思ふから、大體この二、三百年間位の社會の眞相を眺め、記紀を読み行くと、常にその頭で硝子の色を拂拭し乍ら進めば、古代の原形眞相とまではゆかずとも、之に近い形、姿が眺め得られはすまいかと思ふ。

兎に角、氏は本書に章を分つこと九、創世、産靈神、三層の世界、靈及び神、蘆原中國に於ける兩系の抗争及び其の融合、天孫出雲兩系融合後に於ける社會相、外來文化、文化融合の過程、奈

良時代、とせられてゐるが、これで果して例の二、三百年の社會の眞相が描出し得られたか、どうか、又これに依つて古代の原形眞相に近い形、姿が眺め得られるかどうかは姑く別問題としても、古代人の靈の發展が大體組織的に跡付けられてゐると思ふ。新史觀に立つ一つの勞作として十分一讀の價値がある。（菊判五二三頁、三圓五十錢）（淺子勝二郎）

### 寄贈交換圖書雜誌目錄

備後史談	十ノ二、三	備後郷土史會
防長史學	特、五ノ一	防長史談會
國維	九ノ三、四、五、六	國維會
金雞學院叢書	七六、七七、七八	金雞學院
龍谷史談	十三	龍谷大學史學會
伊豫史談	七七	伊豫史談會
埼玉史談	五ノ四、五	埼玉郷土會
名古屋史談會誌	三ノ二	名古屋史談會
伊勢專一郎	支那山水畫史	東方文化學院京都研究所
禪學研究	二十一	臨濟宗大學禪學研究所
國史論文要目	高師部會編	大塚史學會
西洋中世史史料及考證	四	東京商科大學
間崎万里譯	ヴォルフ民族文化史	刀江書院
筑紫史談	六十一	筑紫史談會
鈴木隆一編	國語索引	東京文化學院京都研究所

朝鮮民俗 二

朝鮮民族學會

奈良文化 二十六

竹柏會大和支部

昭和八年度の國史學界

筑波研究部

大谷學報 十五ノ一、二

大谷大學佛教研究會

國史教授資料 五

名古屋溫故會

歷史地理 六三ノ三、四、五、六、六四ノ一

日本歷史地理學會

Boletín oficial de la secretaria de relaciones exteriores, Tomo

歷史教育 八ノ十二、九ノ一、二、三

歷史教育研究會

LXI, Num. 12: Tomo LXII, Num. 1, 2, 3

歷史と地理 三三ノ二、三、四、五、六

史學地理學同政會

Memoria relativa al estado que guarda el Ramo de Educacion

青丘學叢 十五

青丘學叢發行所

Publica, Tomo I, exposicion, Tomo II, documentos

仙臺郷土研究 四ノ二、三、四、五、六

仙臺郷土研究會

Del Mexico Actual, Num. 13, 14, 15

史潮 四ノ一

大塚史學會

文化 一ノ三、四、五、六

東北帝大附屬圖書館

史學研究 五ノ三

廣島史學研究會

風俗研究 一六六、一六七、一六八

風俗研究所

史學雜誌 四十五ノ三、四、五、六

史 學 會

神社協會雜誌 三三ノ二、三、四、五、六

神 社 協 會

史林 十九ノ二

史 前 學 會

人類學雜誌 四九ノ二、三、四、五、六、附

東京人類學會

史前學雜誌 六ノ二、三

史 前 學 會

刀劍會誌 三、四、五、六、七

中央刀劍會

下野史談 十一ノ二、三

下野史談會

經濟史研究 十一ノ三、四、五、六

日本經濟史研究所

書誌學 二、三、五、六

書 誌 學 社

考古學 五ノ二、三、四、五

東京考古學會

宗教研究 十一ノ二、三

大東出版社

考古學雜誌 二四ノ二、三、四、五

考 古 學 會

旅と傳説 七ノ三

三 元 社

國學院雜誌 九ノ三、四、五、六

國學院大學雜誌部

東方學報 第四册

東方文化學院東京研究所

國民經濟雜誌 五六ノ三、四、五、六

商業研究所

東方學報 第四册

東方文化學院京都研究所

國史學 十八、十九

國 史 學 會

土佐史談 四六、四七

土 佐 史 談 會

國史回顧會紀要 十九、二十

國史回顧會

東洋文化 一一七、一一八、一一九、一二〇

東洋文化學會

皇學 二ノ一

神宮皇學館

上毛及上毛人 二〇一、二〇四、二〇五、二〇六

上毛郷土史研究會

密教研究 特(弘法大師研究)

密教研究會

三田學會雜誌 二八ノ一、二、三、四、五、六

慶大經濟學部研究室

南方土俗 三ノ一

南方土俗學會